

令和5年度 東通村植樹祭に参加しました。

「令和5年度 東通村植樹祭」が6月3日（土）、東通村大字蒲野沢地内（蒲野沢共有林）で約100名参加のもと開催され、下北森林管理署からは4名が参加しました。

当日は朝から雨が降っており開催も危ぶまれましたが、開会式が始まる頃には、雨も上がり無事に開催されました。

東通村緑化推進委員会会長である畑中村長の挨拶の後、下北森林管理署長から温室効果ガスの吸収源として森林や木材を利用することが大きな役割を果たしている、本日の植樹祭をととして今一度「森林、林業」の重要性について考えてもらいたいと挨拶を行いました。その後、東通村森林組合による植樹方法の説明を受け、植樹に移りました。

植樹では、コナラやヤマモミジといった広葉樹の苗450本を参加者1人1人が1本1本丁寧に植樹を行いました。

植樹した苗木がしっかりと成長して、地球温暖化防止に貢献してくれることを期待しています。

